

令和 8 年 第 1 回定例会

一 般 質 問

〔会派代表質問〕

印 西 市 議 会

令和 8 年第 1 回定例会一般質問（会派代表質問）一覧

順 番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	至 誠	1 番	大 崎 亜 希	登壇一問一答方式
2	創 進	1 5 番	松 尾 榮 子	登壇一問一答方式
3	新 政	1 3 番	海老原 作 一	登壇一問一答方式
4	T O B E	9 番	稲 葉 健	登壇一問一答方式
5	公 明 党	4 番	鈴 木 博 美	登壇一問一答方式

至 誠

質問者 1 番 大 崎 亜 希

1 子育て支援の現状と今後

- (1) 市長が掲げる「子育て日本一のまち」について、就任後これまでの成果をどのように総括し、今後どの分野に重点投資を行うのか伺う。
- (2) 共働き世帯の支援についての現状と今後の取り組みについて
- (3) ひとり親世帯の支援についての現状と今後の取り組みについて
- (4) 障害児支援の現状と課題について
- (5) 保育について
 - ①現状評価と課題について
 - ②地域限定保育士制度の導入の可能性について
 - ③保育人材の確保について、今後どのような対策を進めていくのか。
- (6) 学童についての現状と今後の取り組みについて

2 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

- (1) 高齢化が進む印西市において、市長のマニフェストに掲げる「安心して暮らせるまち」は、今後どのような施策で具体化されていくのか。
 - ①防犯・特殊詐欺対策について
 - ②災害時における避難行動要支援者への支援体制について
 - ③住環境整備の実施状況と課題について
- (2) 印西市における急速な高齢化への具体策について
- (3) 地域包括ケアの実効性について
 - ①第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画で掲げる3つの基本目標に対する、現時点での進捗評価について
 - ②医療と介護の連携について

3 まちづくり戦略

- (1) 千葉ニュータウンが成熟期を迎える中、今後の人口構造変化をどのように想定し、どの分野に重点を置くのか考えを伺う。
- (2) 子育て世代流入後の「次の10年」をどのように描いているのか。
- (3) 高齢化と人口減少が同時に進むエリアへの対策について
- (4) 企業誘致の今後の方向性と、重点的に誘致を進める分野について

4 成田空港機能強化と印西市の関わり

- (1) 成田空港の機能強化が進む中、印西市は空港圏の一員として、どのような役割を担い、どのような効果を市政に取り込んでいくのか。
- (2) 成田空港へのアクセス向上は、市民生活や企業活動に直結するが、市長は空港アクセスを含めた広域交通をどう捉えているのか伺う。

- (3) 成田空港を核とした物流・産業集積について、印西市の立地優位性をどのように活かし、雇用や税収増につなげていくのか。
- (4) 成田空港関連産業による雇用創出について、市民に還元できる仕組みをどのように構築していくのか。
- (5) インバウンド需要の回復を見据え、成田空港を玄関口として印西市の魅力をどのように発信していくのか。

創 進

質問者 15番 松 尾 榮 子

1 第2次基本計画と今後の施策展開について

印西市は、総合計画に定める将来都市像「住みよさ実感都市 ずっとこのまちいんざいで」の実現を目指して、今後5か年のまちづくりの基本方針である第2次基本計画を定め、令和8年度から新しいまちづくりへの取り組みを進めていく。

新5か年計画では、まちづくりに経営戦略を導入し、「選ばれるまち」に向けて都市経営、行政経営を進めるとしている。そこで伺う。

- (1) 第2次基本計画では「まちづくりの転換期」というフレーズが多く見られるが、どのような点について「転換期」と捉え、どのような方向からどのような方向に向かうのか。
- (2) 印西市の土地利用基本構想は、16年前の合併以前から、北部の成田線沿線を中心とする田園ゾーンと南部の北総線沿線を中心とする新都市ゾーンに二分化され、市全体を有機的につなぐ一体感のある構造になっていない。
新基本計画では、市の構造をどのように捉え、新市としての一体性、「選ばれるまち」としての魅力を創っていくのか。
- (3) 第2次基本計画では、義務教育学校の創設、送迎保育ステーション事業等、多くの新規事業も盛り込まれているが、第1次計画に基づき取り組んできた主要施策・主要事業は、今後も継続的に取り組んでいくのか、路線の見直し等はあるか、主なものについて個別に伺う。
 - ①北総線、JR成田線の運賃問題・利便性向上等
 - ②公共施設適正配置・庁舎更新問題
 - ③牧の原駅圏複合施設
 - ④木下駅前にぎわい広場
 - ⑤学校適正配置
 - ⑥図書館運営と今後の施策
 - ⑦歴史文化施設

- ⑧部活動の地域移行
- ⑨計画的まちづくりに向けた地区計画等の策定
- ⑩印旛中央地区の取り組み
- (4) 現在、令和7年度から9年度まで3か年の第5次実施計画が進行中であるが、第2次基本計画に基づき実施計画を見直す考えはあるか。
- (5) 第2次基本計画でキーワードの一つとなっている「多極循環」について、行政面とまちづくりの両面から具体的な考え方を伺う。
- (6) 財政計画について
 - ①歳入面について
 - ア 現在、市では企業進出による固定資産税の歳入増等により比較的安定的な財政状況にあるが、財政の将来見通しはどのように想定しているか。
 - イ 将来的な高齢化率の上昇、財政状況の変動等を考慮に入れた計画となっているか。
 - ②歳出面について
 - ア 第2次基本計画の最終年度である令和12年度以降の将来的な公共施設の整備及び大規模修繕について、想定している主な事業は何か。
 - イ それらについての資金計画を考慮に入れた計画になっているか。
- (7) 基本計画の策定にあたって、市民説明会やYouTubeなどによる市民への発信も行われたが、パブリックコメント等の反応はどうであったか。

2 行政組織改編について

令和8年度からの組織改編について新案が示された。昨年来の改編案を見直した上での改編であり、喫緊の課題等、重要な使命を踏まえた案であろうと考える。

新設・移動等の部署について、目的や業務内容について伺う。

- (1) 企画財政部
 - ①契約検査課、施設管理支援課の課への昇格理由と業務内容について
 - ②公共施設整備推進室が企画政策課から資産経営課へ移動した理由と業務内容について
- (2) 都市建設部
 - ①建築指導と開発指導を一元化した開発建築課が取り組む課題について
- (3) 教育部
 - ①教育部と生涯学習部の分割についての考え方
 - ②図書館課の位置づけについて
- (4) 令和7年度の9部46課から10部51課への改編であるが、人員配置の考え方について

3 市役所庁舎の適正配置について

印西市役所現庁舎は、千葉ニュータウン入居開始前の昭和51年、当時約2

万人前後の印西町時代に、将来人口を現在の約半分、6万4千人になると想定して建てられ、法定耐用年数50年のところ、今年、令和8年に築50年を経過する。

現在11万2千人と、想定約2倍になる人口増加、合併による市域の2倍以上の拡大、市内各地区を効率的に結ぶ行政の拠点や災害対策の拠点機能、その他老朽化、安全対策、ニーズに合った設備等々、多くの観点から、築50年を機に、市制30周年を迎える令和8年度からこそ、次期庁舎の建設について具体的に計画を進めるべきときに来ていると考える。

そこで伺う。

- (1) 県内他市の新庁舎整備について、調査は行っているか。行っているとすればどこか。
- (2) それら諸都市での庁舎建替えの理由で共通する項目は把握しているか。
- (3) 庁舎建設は大きな事業費を要する大事業であるが、それを実施できる時期の条件についてどのように考えているか。
- (4) 市役所庁舎の建設計画の検討について、いつ頃までに、どのように取り組んでいく考えか。

4 広域連携について

印西市は首都近郊において、都心と成田空港を結ぶ好立地により、近年大きく発展してきた。千葉県北西部の拠点都市として、今後も持続的な発展を続けていくためにも、各種施策において近隣諸都市との連携は重要である。

そこで伺う。

- (1) 成田空港第2の開港の効果を、市のまちづくりにどのように反映することを目指すのか。
- (2) 白井市との協定について、どのような点で協力し、今後さらにどのような点で協力が可能と考えるか。
- (3) 成田市・印西市・栄町・千葉県による「市町村連携による千葉ならではの芸術祭」の準備状況について

新 政

質問者 13番 海老原 作 一

1 組織改編について

市民サービスを安定して提供していくため、行政課題の多様化に伴う喫緊の課題に対応するとともに、現場の意見を踏まえた組織体制とすることで、組織の柔軟性や専門性を確保するとして、令和8年度組織改編案が示された

ことを踏まえ、以下の質問をする。

(1) 市長部局に係る組織改編について

①令和8年1月29日開催の全員協議会で示された市長部局分の令和8年度組織改編案は、令和7年11月4日開催の全員協議会で示された全体的組織改編案の概要に至る通過点と考えてよいか。(教育部局からの事務移管を除く)

②今後の組織改編についてのロードマップはあるか。ある場合の人員の確保、本庁舎等における物理的スペースの確保をどう整えていくのか。

(2) 教育委員会に係る組織改編について

令和8年度の組織改編案では、生涯学習部を新設するとしているが、将来的に当該部に係る事務を市長部局に事務移管する考えはあるか伺う。

2 財政計画について

市は、「健全かつ安定した財政運営を図っていくために、財政的視点から基本計画を補完し、その実効性を高めるものである。また、将来の財政収支の見通しを明らかにし、実施計画の策定、予算編成・執行及び日常の行政管理にあたっての指針とするものである。」として財政計画を策定している。

そこで以下の質問をする。

(1) 令和8年度を初年度とする印西市第2次基本計画がまとまりつつある中で、計画期間を同一とした財政計画が策定されていると思うが、公表されるのはいつか。

(2) 前期財政計画では、主な歳入・歳出の試算と実額が年を追うごとに大きく乖離している。これをどう評価しているか。

(3) 新財政計画では、より精度の高い財政計画を策定すべきと考えるがどうか。

それでも、乖離が生ずるのであれば期間中の見直しも考慮する必要があるのではないか。

3 印西市内の医療体制について

市における人口増やその年齢構成等の変化により疾病構造が変化する中で、誰もが必要に応じ安心して受診できる医療体制の確立が求められている。そしてその時々状況に応じた医療体制の最適なありようへと誘導することが行政にとって重要な行為であると考えている。

そこで以下の質問をする。

(1) 市内における1次・2次・3次医療機関の配置について伺う。

(2) 1次医療機関における診療科の区分ごとの診療所数について伺う。

(3) 1次医療機関を今まで担ってくれた医師の引退に関する情報入手と市の対応について伺う。

4 環境施策の展開について

市は、計画期間を令和4年度から令和13年度として、策定した第3次印西市環境基本計画では、「自然との共存を意識した行動を心がけることを目指しみんなでつくる 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」を本市の将来環境像として掲げ、市民・事業者・行政の三者協働により将来環境像の実現に向けて取り組むとしている。

そこで以下の質問をする。

- (1) 樹林地・斜面林の保全では、市民、事業者、行政の協働による里山保全事業の進捗状況について伺う。
- (2) 市の重要な水環境である印旛沼・手賀沼及び流入する河川の環境の保全状況について伺う。
- (3) 公共施設における脱炭素化の推進として、公共施設や市有地などにおいて再生可能エネルギー発電設備及び蓄電設備導入の進捗状況について伺う。
- (4) 気候変動への影響が生じている、あるいは重要と考えられる分野ごとに、必要な対策をどのように遂行しているか伺う。

T O B E

質問者 9 番 稲 葉 健

1 市制施行30周年記念事業について

令和7年第3回会派代表質問では、市政施行30周年記念事業についての基本方針や検討状況について伺った。今回は具体的な内容について伺う。

- (1) 現在検討されている事業の内容について
- (2) 実施スケジュールについて
- (3) 事業実施後の効果測定や評価方法について
- (4) 市政施行20周年記念事業との比較について

2 市の一般行政と教育行政の在り方について

- (1) 図書館や生涯学習に関連する役割について

一般行政と教育行政の2つの柱において、図書館や生涯学習がどのようにして地域の発展に寄与させていくか、それぞれの考えを伺う。

- (2) 行政と教育の役割分担について

図書館や生涯学習が、行政としての取り組みと教育機関としての取り組みのどちらに重点を置くべきか。

また、それぞれの役割がどのように相互に補完しながら地域発展を促進するのかについて考えを伺う。

(3) 市民参加の促進とニーズの反映について

図書館や生涯学習の運営にあたり、市民参加の機会を提供し、地域のニーズをどのように反映させているのかに関して具体的な方策を伺う。

(4) 教育プログラムの充実について

生涯学習プログラムや図書館の提供する教育資源の充実に向けた計画や施策が今後あるかどうか、また、どのように実施されるのかについて伺う。

(5) 今後の活用について

今後、市は図書館や生涯学習をどのように活用し、まちの活性化を進めていくか伺う。

3 印西市の民話について

令和8年3月31日に市は市独自の民話絵本としての第2作目となる「ひかりどうのりゅう」を発行する。

(1) 詳細について伺う。

(2) どのようにこの絵本を市は活用していくか伺う。

4 いのち支えあういんざい自殺対策計画について

令和7年第2回定例会にて同様の質問を行っている。その中で市長は、「第2次印西市自殺対策計画については、令和8年から12年の5年間を期間とし、誰も追い込まれることのない、共に支え合う印西市を目指すことを基本理念に、令和7年度中に策定予定としている。既存の計画は網羅的であるものの、計画の焦点がぼやける可能性もある。我々の仕事は市民の福祉を向上させることであり自殺対策が重要なテーマであると考えている。市民と接する職員や関係機関が、困っている方や悩みを抱えている方に寄り添うよう、庁内で検討を進めている。」とのことでした。

(1) 第2次印西市自殺対策計画について

①大まかな内容について伺う。

②どんなところが大きく変わったのか。

③新たな対策等について伺う。

公 明 党

質問者 4 番 鈴 木 博 美

1 印西市の物価高騰対策事業について

(1) プレミアム付きデジタル商品券事業

- ①対象年齢の基準日と対象者数
- ②「PayPayアプリ」の市民利用者数
- ③高齢者などデジタル弱者への申請支援体制
- ④市内対象店舗の登録状況と利用環境の整備

(2) 物価高騰対策高齢者支援事業

- ①対象者数
- ②商品券の配付方法とスケジュール
- ③使用可能な店舗数や表示、市民への周知方法
- ④市役所への問い合わせや反響

(3) ひとり親世帯への給付金給付事業

- ①対象世帯数
- ②給付スケジュール

(4) 物価高騰対応子育て応援手当給付事業

- ①対象児童数
- ②給付スケジュール

2 市民の命と健康を守る感染症対策について

(1) 帯状疱疹ワクチン接種費助成事業

- ①対象者数と接種率の推移
- ②市民や関係機関からの問い合わせや反響
- ③定期接種開始後における市独自助成の考え方
- ④令和8年度以降の助成事業継続の考え方

(2) R S ウイルス感染症対策（母子・高齢者）

- ①母子免疫ワクチン定期接種化への認識と検討状況
- ②高齢者等を含めたR S ウイルス感染症の位置づけ
- ③市ホームページ等での情報提供と今後の周知方針

3 市民の安全・安心を守る交通安全対策について

(1) 道路交通法改正を踏まえた自転車の安全対策

- ①道路交通法改正（自転車関係）への市の認識
- ②市民への周知・理解促進の取り組み
- ③自転車利用者への安全対策
- ④関係機関との連携状況

(2) 自転車用ヘルメット購入費助成事業

- ①ヘルメット購入費助成の申込み状況
- ②市民からの問い合わせ・意見
- ③ヘルメット着用状況の推移
- ④効果検証と今後の継続の考え方

4 誰一人取り残さないウェルビーイングの向上について

(1) 高齢者の地域における居場所の把握と活用

(2) 緊急避妊薬市販開始後の周知とアクセス確保

- ①市販開始後の市の周知状況
- ②必要な方が情報にたどり着ける仕組み
- ③販売薬局の情報提供とアクセス確保

(3) ごみ出しが困難な方への戸別収集支援

(4) 認知症高齢者の見守り支援策の検討状況

- ①令和7年度における認知症施策推進計画の調査研究と骨子検討
- ②見守り支援方法に関する事例調査と方針整理
- ③令和9年度実証実験を見据えた令和7年度の位置づけ